

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	独語演習		
英文授業科目名	Intermediate German		
開講年度	2008年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	湯川 敬弘		
居室	東1-607		

公開E-Mail	授業関連Webページ
t-yukawa@bunka.uec.ac.jp	

<p>【主題および達成目標】</p> <p>(a) 主題：ドイツ語が日本語と異なる発想の言語世界をもっているということを1年の授業で理解しましたので、さらにドイツ語の文法に沿って、文章の諸成分を解析し、構造を正しく把握した上で、意味連関を押さえて、正しく文章を読めることを訓練します。その訓練と共にドイツの文化と敷いては日本文化との違いを色々な話題とともに理解する。</p> <p>(b) 達成目標：internetなどに書かれている文章が基本的に読めるようになる。</p>
--

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>独語第一、第二</p>

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p> <p>選択独語第一、第二</p>
--

電気通信大学 平成20年度シラバス

【教科書等】

教科書：3限、4限とも『外国人のためのドイツ語』（郁文堂）とプリント

参考書：1年次の教科書持参

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

3限は授業主題により忠実にゆっくりと進める。文法にまだ十分に自信のない諸君む け。

4限は基礎文法にある程度自信のある、ドイツ語の文章になれたい諸君向けに、
すこし早く読む訓練をする。両クラスとも、発音の徹底的訓練をする。

(b) 授業の進め方：3限は最初は復習をかねて易しい文章から始め、もう一度文法的知識 を確実なものとしていきます。4限は基本的文法理解はできているものとして、少し難しい文章からはじめます。ともに全員あてます。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法： 課題 40% 期末試験 60%

(b) 評価基準：すべての課題を果たしていること、発音の基礎がみについていることが最低基準。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、メールで事前に連絡すること。

【学生へのメッセージ】

大学は教えてもらうところではなく、自分から学ぶところ。先生はその手段。
大いに質問をしよう。

【その他】

このクラスは例年とことなり、3時限、4時限により、対象学生が異なります。